

中部人懇通信 No.2

人権教育
主任対象

平成29年7月6日（木）に、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の人権教育主任を対象とした中部地区人権教育懇談会を開催しました。その内容を報告します。

1 説明 「人権教育の組織的な進め方」

「人権教育主任の職務」「人権教育で育てたい資質・能力」「人権教育の指導方法の工夫」について確認をしました。また、人権教育の指導方法の参考となる例を紹介しました。

- 人権が尊重される授業づくりの視点例
【人権教育の指導方法のあり方について[第三次とりまとめ]（H20 国）】
- 人権教育に関する特色ある実践事例【文部科学省HP】



2 グループ協議1 「人権教育の現状と課題」 小・中・高・特別支援学校混合グループ

「人権が尊重される授業づくりの視点例」をもとに、各校の現状と課題について情報共有を行いました。小・中・高・特別支援学校の先生方がグループになり、校種によって違うことや校種が違って共通していること、児童生徒の学習の様子などを話し合いました。

共通する課題について、小中高のつながりを意識した取組や自校の実践にどのように取り入れるかを協議されているグループもあり、発達段階に応じた指導や今後の取組を考えるきっかけとなりました。

人権が尊重される授業づくりの視点例

- ①自己存在感をもたせる支援
- ②共感的人間関係を育成する支援
- ③自己選択・決定の場の設定



3 グループ協議2 「各校の人権教育計画と実践に向けた取組」 校種別グループ

各学校の人権教育の全体計画や年間計画をもとに、同じ校種のグループで協議を行いました。

取組を紹介しあう中で、自校の取組の課題についてのアドバイスをもらったり、今後の実践の参考となる取組を共有したりすることができました。

「育てたい資質・能力」を位置づけてある年間計画、町で決めた共通項目にもとづく実践など、参考になる取組が紹介されていました。また、異文化理解や特別支援教育に関する指導、保護者研修の持ち方など、様々な視点で熱心な協議がなされました。



【参加者の感想より】

- ・人権教育主任の職務を改めて確認することで、自分の取組について振り返ることができた。
- ・「授業づくりの視点」をもとに話し合うことで、自分の授業の中で改善すべきことが分かった。
- ・現状の取組の中では一面的な見方で授業をしてしまっていた。協議の中で、多角的に見たり考えたりできていないことに気づかされたので、授業改善をしていきたい。
- ・共通した課題として、「自尊感情」「自己表現」に関わる課題があがったが、各校の実践について知ることができたので、参考にしていきたい。
- ・校内で取り組む重点目標を決めること、学校の取組を地域、保護者と連携を図りながら進めることなど、今後の取組を考えることができた。

人権教育主任の先生方が中心となり、自校の課題を把握した上で、全職員で人権教育の年間計画の見直しをするなど、人権教育を効果的に進めていくための工夫をしていきましょう。

